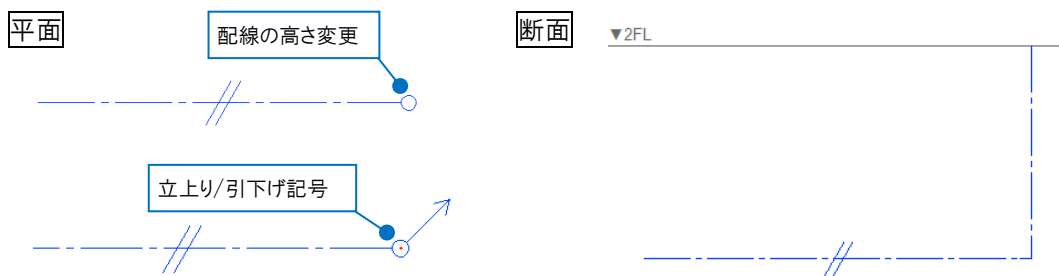


Q 階をまたぐ電気配線を作図したい

A1 配線作図中に高さを変更します

A2 [立上り/引下げ]コマンドを使用します

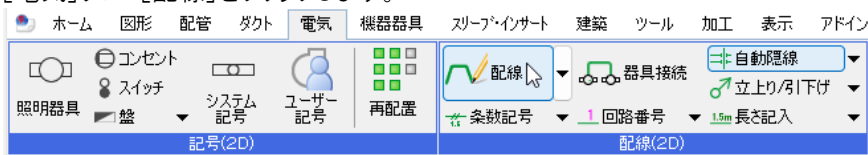
配線の作図中にコンテキストメニューやリボンから高さを変更できます。
また、[立上り/引下げ]コマンドを使用して、縦方向の配線を作図することもできます。




▼A1 配線作図中に高さを変更します

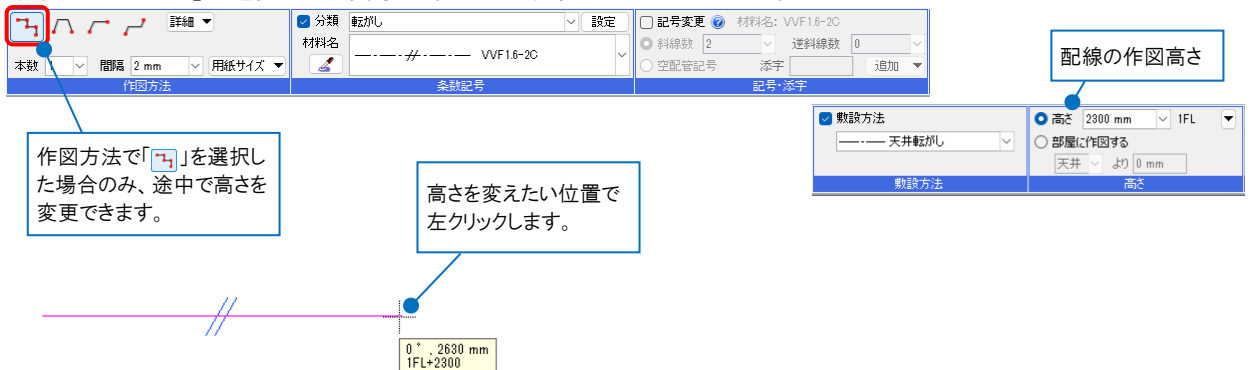
[電気]タブ-[配線]をクリックします。

1



2

作図方法で「」を選択します。高さを変えたい位置で左クリックします。

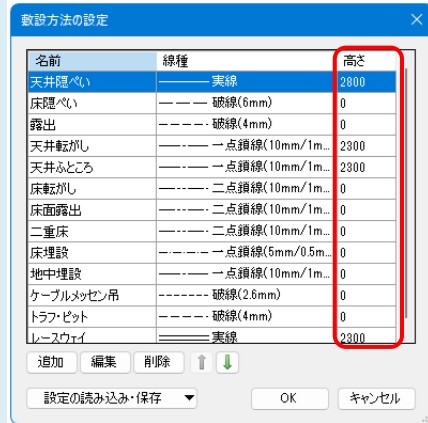


●補足説明

配線の作図時の高さは、リボンで設定することができます。コマンド起動時には、敷設方法に設定されている高さが初期値で表示されます。

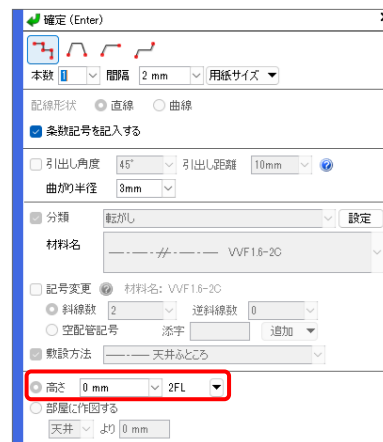
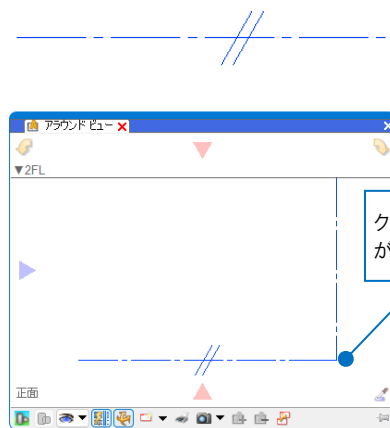
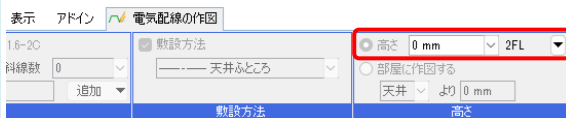


敷設方法の高さは、[電気]タブ-[敷設方法の設定]の[高さ]欄で確認できます。



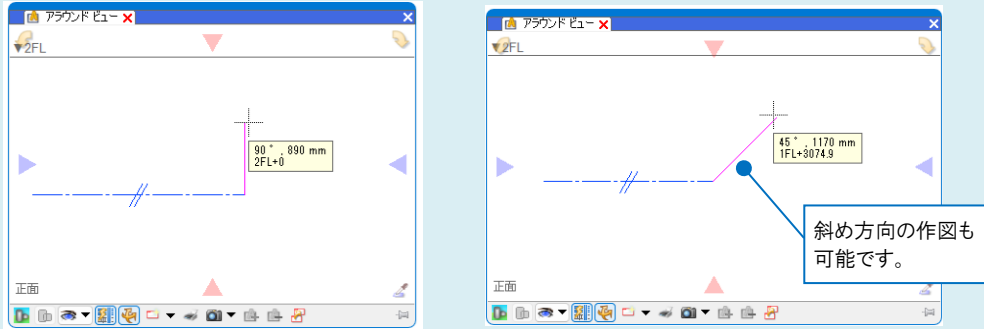
3

リボンまたはコンテキストメニューを開き、高さや基準フロアを変更して Enter キーで確定します。

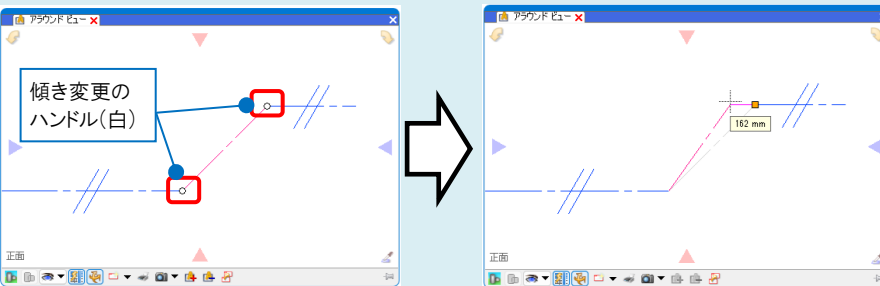


●補足説明

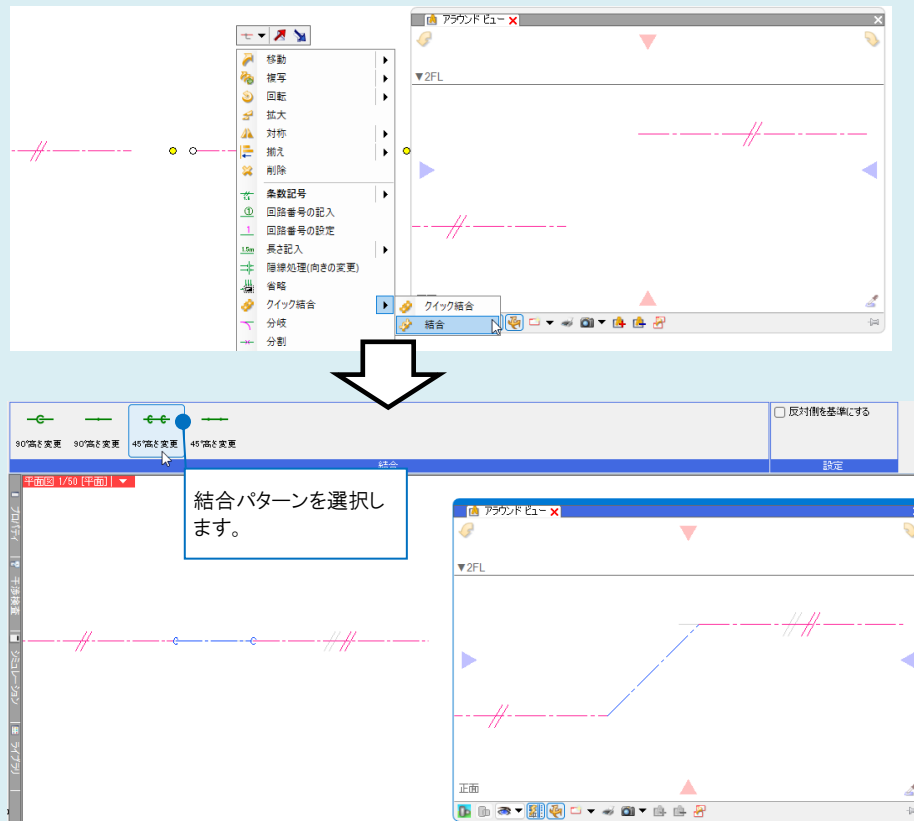
断面ビューで高さを変更しながら配線を作図することもできます。



作図後に傾きを変更したい場合は、断面で配線を選択し、Shift キーを押して、ハンドルを表示を切り替えます。配線の両端に表示される傾き変更のハンドル(白)をクリックして、マウスを左右に動かすと傾きが変わります。



高さ違いの配線が2本ある場合は、2本とも選択して右クリックし[クイック結合]-[結合]で結合できます。



▼A2 [立上り/引下げ]コマンドを使用します

[電気]タブ-[立上り/引下げ]をクリックします。

1



2

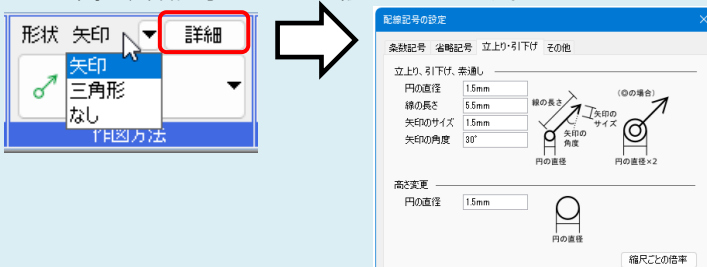
[作図方法]パネルで記号を指定し、記号の種類に合わせて高さを指定します。



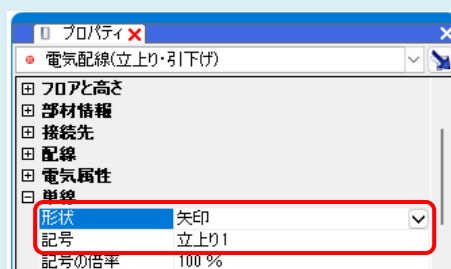
- ・立上り記号:記号の高さと配線の天端高さを指定します。
「記号高さ」から「配線天端高さ」までの豎の配線が作図されます。
- ・引下げ記号:記号の高さと配線の下端高さを指定します。
「記号高さ」から「配線下端高さ」までの豎の配線が作図されます。
- ・素通り記号:配線の天端高さとして下端高さを指定します。指定した高さの配線が作図されます。
配置した記号の高さは、配線の天端高さとして下端高さの中心になります。
- ・高さ変更記号:配線の天端高さとして下端高さを指定します。指定した高さの配線が作図されます。
配置した記号の高さは、配線の天端高さになります。

●補足説明

矢印の形状は「矢印」「三角形」「なし」から選択できます。[詳細]をクリックすると、[配線記号の設定]-[立上り・引下げ]タブが開き、各記号のサイズの設定ができます。



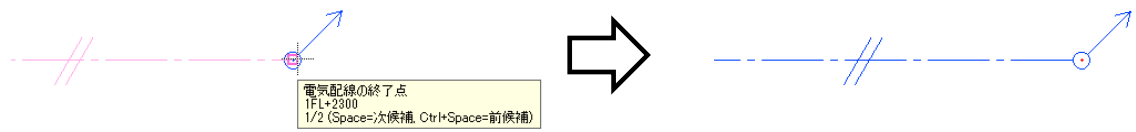
矢印の形状と記号はプロパティの[単線]-[形状]/[記号]から作図後に変更も可能です。



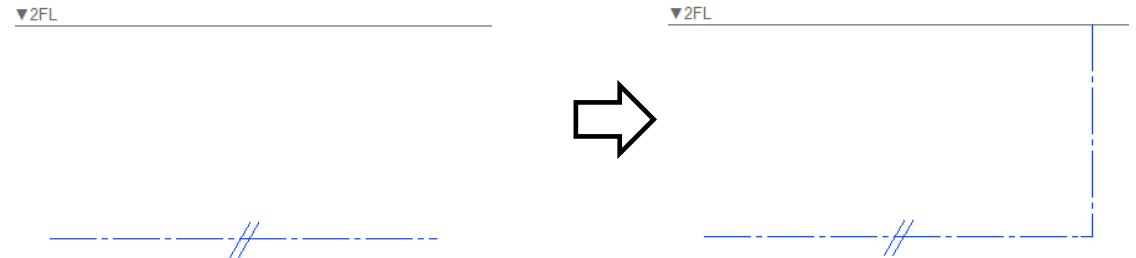
3

作図位置を指定し、挿入すると、縦方向に配線が作図されます。

平面



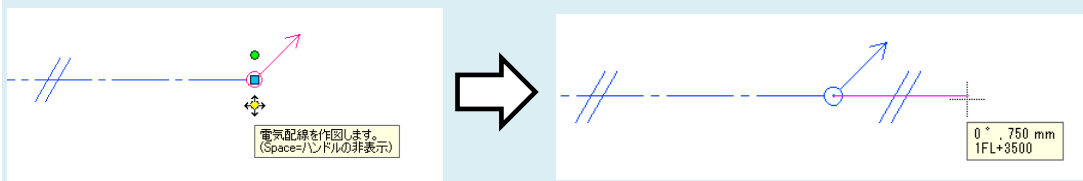
断面



●補足説明

記号から横引きの配線を続けて作図する場合は、[立上り/引下げ]記号を選択し、ルート作図のハンドル(黄)をクリックして作図できます。

平面



断面

